

北海道幌加内高等学校の行動計画(グローバル・アグリハイスクール宣言)

全国の農業高校の行動計画		学校において令和2年度に重点化する取組及び具体的方策			
「5つの基本方針」	「10の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	目標達成期間	具体的方策	
I グローバル教育 で人材を育てる 学校	①「生徒一人一人を一層成長させる」教育を行います。	(1)農業の六次産業教育を推進します。	B	(1)六次産業について理解させ、年3回の幌高商店会(アンテナショップ)運営を実施します。	
		(2)農業学習で得た知識・技能・成果を外部実践します。	A	(2)新そば祭り等のイベントで生徒が主体的に企画・運営することを目指します。	
II 地域社会・産業 に寄与する学校	②「世界と日本をつなぐグローバル」教育を行います。	(1)G-GAPの取り組みに準拠した農場の生産体制を見直します。	B	(1)G-GAPに準拠した農業教育を実践します。	
		③「地域農業の生産を支える」教育を行います。	(1)農業体験実習を継続実施します。	A	(1)町内農家ならびに関連機関で3日間実習を行います。
			④「地域の農業関連産業に寄与する」教育を行います。	(1)地域農家や関連企業が抱える問題をプロジェクトのテーマとして活動します。	B
III 地球環境を守り 創造する学校	⑤「地球環境を守り創造する」教育を行います。	(1)校内および町内の環境美化に取り組み、エコロジーを意識した町づくりに取り組みます。		A	(1)町内清掃活動ならびに町内花いっぱい運動へ全員参加します。(参加率100%)
		⑥「食農」教育を推進します。	(1)生産者ならびに消費者、両者の視点に立った食料生産(農産物や加工品)に取り組みます。	B	(1)HACCPやGAPに関する学習と校内研修に取り組みます。また、農薬使用基準50%以下を目指します。
	⑦「地域資源を活用する」教育を行います。		(1)そば栽培や加工の学習をとおしてそば打ち技術を継承し、次世代を担う人材育成を目指します。	A	(1)本校独自で作成した「そばテキスト」を授業で活用します。
			(2)地域特産品を活用した加工品の開発を目指します。	B	(2)そばに関する経済活動について関連機関と連携をします。
	IV 地域交流の拠点 となる学校	⑧「地域交流の拠点となる」教育を行います。	(1)幼、小、中、高等学校が連携し農業の大切さを伝え、学校の持っている教育力を地域に還元します。	A	(1)小中学生体験学習において生徒が主体的に「そば打ち」や「加工」を教えます。
(2)地域の教育力を活かした授業を行います。			A	(2)外部講師(そば打ち・大学等)による授業を実施します。	
V 地域防災を推進 する学校		⑨「機関・団体と連携した」教育を行います。	(1)地域の協力の下、そば打ち段位認定会を企画・運営します。	A	(1)素人そば打ち段位取得者100%を目指します。
	⑩「地域防災を推進する」教育を行います。		(1)地域の教育力を活かした防災教育を行います。	B	(1)地域の防災避難訓練時等に研修参加し、学校教育にフィードバックします。
		(2)農場危機マニュアルの整備をし、常に安全教育の徹底・危機管理意識向上を図ります。		(2)安全管理の徹底と事故の未然回避に取り組みます。	